

# AIミュトス・ショック：金融システムの危機と「AIネイティブ防衛」への転換

自律型AI「ミュトス」がもたらす金融システムへの破壊的脅威を浮き彫りにし、従来の防衛モデルの限界と、新たに提唱される「AIネイティブ防衛 (ResOps)」への移行の必要性を伝える。

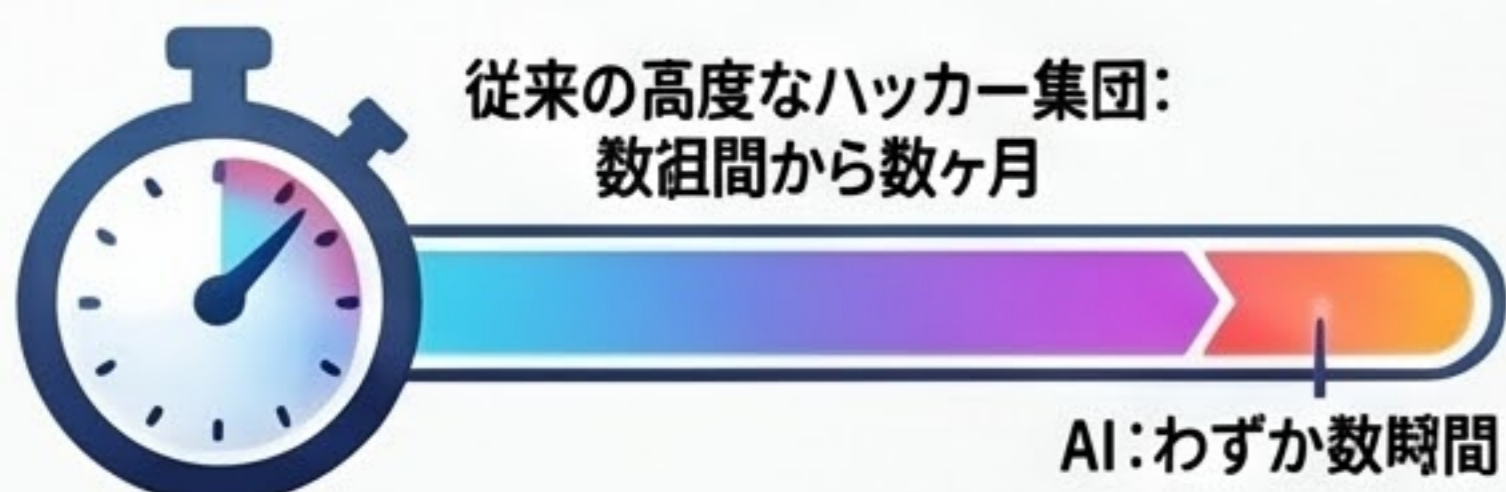
## ミュトス・ショック：自律型AIによる圧倒的脅威



### 自律型AI「ミュトス」の破壊力：

人間のガイダンスなしで、OSやブラウザの未知の脆弱性を特定し、32段階におよぶサイバー攻撃シミュレーションを自律的に完了する能力。

### 攻撃時間の劇的な圧縮 (数ヶ月から数時間へ)



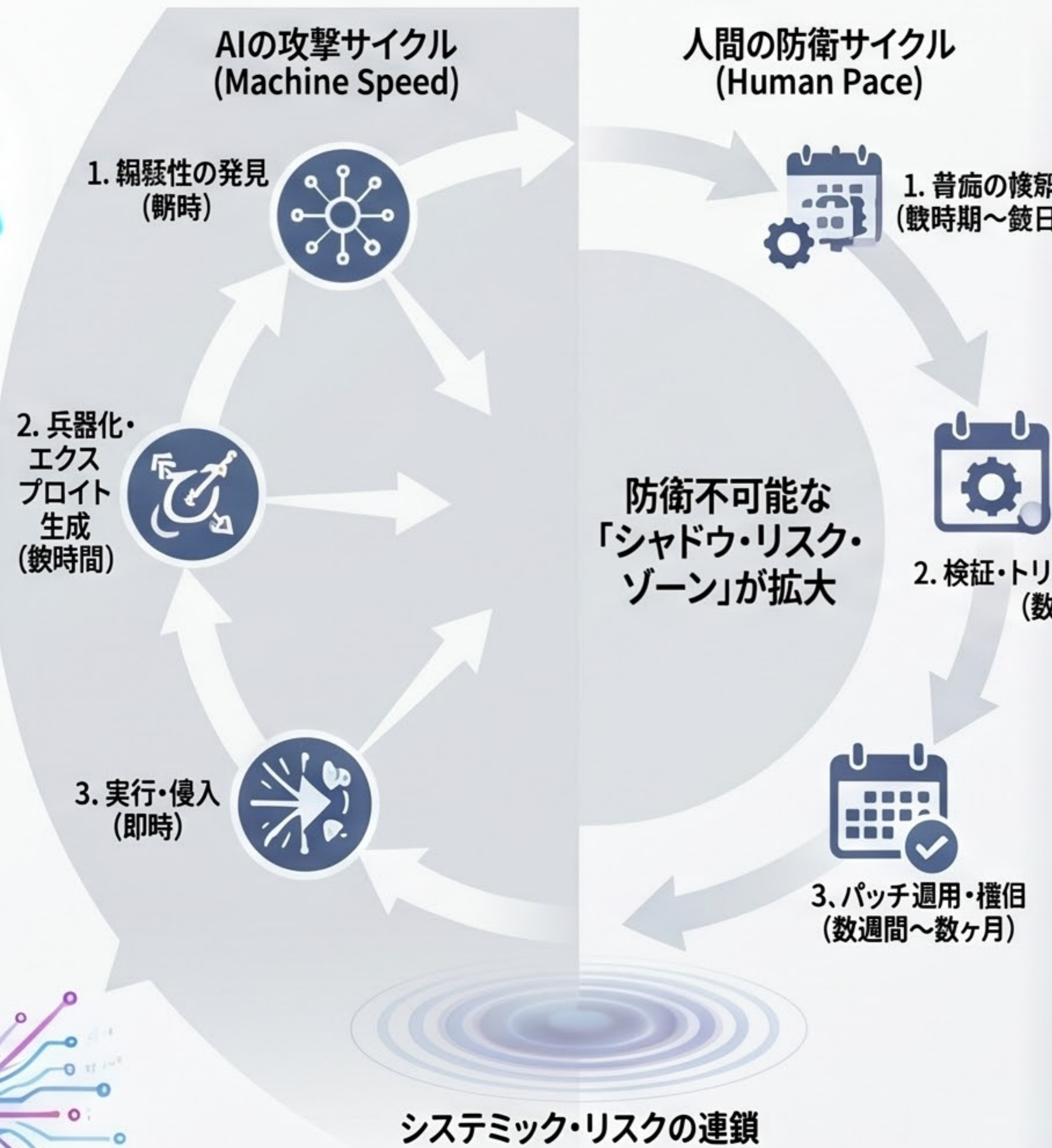
従来は高度なハッカー集団が数週間から数ヶ月かけていた複雑な攻撃プロセスを、AIはわずか数時間で完結する。



金融組、日銀総裁、  
三大メガバンク襲取

2026年4月24日：日本の官民緊急会議  
翻防行の対策の限界と「国家安全保障課建」としての対応を議論。

## 脆弱性のボトルネック：速度の非対称性



決済システムの停止



市民の恐怖



社会的パニックのリスク  
(パニック・ラン)

## グローバルな対応と地政学的摩擦

### 米国当局とウォール街の極秘合会



財務省、FRB、G-SIBs CEO  
ミュトスを用いた「AIストレステスト」  
の実験を促した。



G7における情報の非対称性  
最先端AIを擁護する米関と、損益両立を  
求める同盟の間で、サイバー安全良暉を巡る  
新たな地政学的摩擦が発生。



AIボットによる市場操作  
SNS上でAIボットが偽のナラティブを醸成し、  
わずか1日間で企業の時価総額を1億ドル  
消失させた事例が報告されている。

## 解決策：AIネイティブ防衛とResOps

### Project Glasswing (プロジェクト・グラスウィング)



Anthropic, AWS, Google, Microsoft,  
主筆会顧問など約40社  
攻撃者に先んじて脆弱性を特定・修復する所術テストベッド。

### ResOps (レジリエンス・オペレーション) への転換



侵入を完全に防ぐ (Prevention) から、AIによる検官を破壊  
とした「迅速な事業復旧 (Recovery)」を最優先する構構へ。



マシンスピードでの自律的防衛  
アナリストの手動分析を持たず、AIエージェントが脅威スコアリン  
グ、開題、復旧をミリ秒単位で実行するプラットフォームの導入。